

昭和34年秋季年会（高松）

講演予稿集

於 香川大学経済学部

日本天文学会

日本天文学会 1959 年秋季年会

プ ロ グ ラ ム

◇日 時 昭和34年10月19日(月), 20日(火), 21日(水)

◇場 所 高松市香川大学

	午 前 (9時より)	午 後 (1時より)	夜
19 日 (月)	研 究 発 表	研 究 発 表	公 開 講 演
20 日 (火)	研 究 発 表	研究発表, エクス カーション	懇 親 会
21 日 (水)	岡山県竹林寺山に建設中の岡山天体物理観測 所の見学		

講演予稿集について: 特別会員には1部ずつ無料で配布しますが, その他の方
および特別会員で2部以上希望される方は1部につき実費40円, 送料8円
をお送り下さい。年会講演の当日会場でもおわけします。

☆ 19 日(第1日)の昼休みに理事会を開催します。

☆ 21 日の岡山天体物理観測所見学は東京天文台の厚意により, 当日高松
発連絡船第1便(9時45分)に接続して, 宇野よりバスを仕立てます
(宇野→竹林寺→岡山, バス代無料)。

第 1 日 10 月 19 日 (月)

〔午前〕 (9 時より)

- | | |
|--|---------|
| 1. 切田正実 (緯度観測所): P.Z.T. の観測誤差について | 分
10 |
| 2. 弓 滋 ("): 1955.0 年以降における水沢の緯度変化 | 7 |
| 3. 高木重次 ("): 1923—1934 年の緯度変化の再解析により
求められたチャンドラー周期について | 10 |
| 4. 進士 晃 (水路部): 地平気差について | 5 |
| 5. 大脇直明 ("): 低高度観測における気差について | 5 |
| 6. 関口直甫 (東京天文台): コンクリート・ビヤールの熱による
ゆがみについて | 5 |
| 7. 松本淳逸, 長根 潔 ("): 子午儀の光電観測についての一試案 | 5 |
| 8. 長根 潔 ("): 二相 servo motor による測微尺駆動装置 | 5 |
| 9. 松本淳逸, 原 寿男 ("): 子午環 circle 読取り装置の試案と
その予備実験 | 7 |
| 10. 足立 巖, 今川文彦, 高柳和智 (大阪工試, 京大理): ザートリウス
18 cm 対物レンズの精密検査 | 7 |
| 11. 安田春雄, 原 寿男 (東京天文台): 子午環観測による P.Z.T. 星の位置 | 5 |
| 12. 徳弘 敦, 佐藤典彦 (水路部): 鳥島における天文経緯度観測について | 7 |
| 13. 檀原 毅 (地理調査所): 掩蔽観測より求めた日本のジオイドの凹み | 8 |

〔午後〕 (1 時より)

- | | |
|--|----|
| 14. 松波直幸 (東京天文台): 月の ΔL の周期成分について | 7 |
| 15. 青木信仰, 遠藤芳子 ("): 1955—58 年の掩蔽の整約 | 5 |
| 16. 飯島重孝, 岡崎清市 ("): UT, ET, QT, CsT, AmT の比較 | 7 |
| 17. 青木信仰 ("): 暦表時の決定における春分点補正の影響 | 5 |
| 18. 虎屋正久, 飯島重孝 ("): ΔT の近況 | 10 |
| 19. 宮地政司, 河野 昇 ("): 原子時系と天文時系との比較 (II) | 7 |
| 20. 関口直甫 ("): 地球の core と mantle との結合について (II) | 7 |
| 21. 芝原謙一 (仏教大学): 三体問題における捕獲条件 | 10 |
| 22. 鈴木裕一 (水路部): スワロフ島における皆既日食接触時刻の測定結果 | 7 |
| 23. 古田清一 (京大理): 種子島金環日食報告 (第 2 報・続)
部分食写真による太陽・月の相対位置 | 5 |
| 24. 藤波重次, 古川麒一郎 (京大理): 種子島金環日食報告 (第 3 報・続)
月のプロフィルの検討 | 5 |

25. 藤波重次, 古川麒一郎 (//): 種子島金環日食報告 (第4報), 金環食写真による太陽・月の相対位置	7
26. 佐藤直宣 (東北大理): スワロフ島日食観測に於けるコロナの偏光分光写真	7
27. 田鍋浩義 (東京天文台): スワロフ島におけるコロナの偏光観測	7
28. 平山 淳 (東大理): リム・フレアの分光分析 (II)	5
29. 野附誠夫, 日江井栄二郎, 岡本富三 (東京天文台): リム・フレアの測定	7
30. 下小田博一 (愛知学芸大): 太陽光球の乱流スペクトルについて	7
31. 牧田 貢, 森本雅樹 (東京天文台): 太陽黒点の光電分光測光 (IV)	7
32. 日江井栄二郎 (//): 閃光スペクトルで見られるコロナの輝線 (II)	7
33. 末元善三郎 (//): 彩層輝線の輪廓について	7
34. 斉藤国治 (//): 高空よりの太陽コロナ観測の可能性と限界	10
35. 川口市郎 (花山天文台): 太陽面上のヘリウム輝線分布について	7
36. 細川良正 (山形大文理): アルゴール系に於ける反射効果 (続報)	7
37. 北村正利, 高橋千恵 (東京天文台): 近接連星における 重力収縮モデル (続報)	7

第 2 日 10 月 20 日 (火)

〔午前〕 (9時より)

38. 鈴木重雅, 森本雅樹 (東京天文台): ラジオ星の子午線観測 (I)	7
39. 河鱈公昭 (//): 200 Mc/s 太陽電波の偏波について	7
40. 高倉達雄 (//): アウトバーストの電波スペクトルについて	7
41. 高倉達雄 (//): 太陽電波の limiting polarizat on について	10
42. 藤田良雄, 山下泰正 (東大理): VAql のクーデ・ スペクトルについて (IV)	7
43. 藤田良雄 (//): U Hya のスペクトルについて	5
44. 近藤雅之 (//): RS Oph のスペクトル (III)	7
45. 上条文夫 (//): 炭素分子近赤外帯の振動遷移確率	5
46. 高柳和智 (京大理): S 型星の絶対等級および分布	7
47. 矢田文太 (//): HI 領域を伴うガス状星雲の輻射場について (II)	7
48. 高柳和夫, 西村史朗 (埼玉大, 東大理): 星間物質の冷却過程 (続報)	10
49. 武部尚雄, 畑中武夫, 海野和三郎, 下田真弘 (東大理): 星間物質の収縮過程 (続報)	15
50. 海野和三郎, 山下泰正 (東大理): 非灰色大気の新理論	7
51. 山下泰正, 上条文夫 (//): 理想化した非灰色大気	7

52. 上野季夫 (京大理): M-E モデルにおける非定常な散乱について	10
53. 下田真弘 (東大理): 対流外層をもつ巨星のモデル (V)	7
54. 海野和三郎, 牧田 貢, 堀 源一郎 (//): ポリトロープ大気の 対流不安定 (I, 変分原理)	7
55. 加藤正二, 海野和三郎 (//): ポリトロープ大気の対流不安定 (II, 計算結果)	7

〔午後〕 (1時より)

56. 宮本正太郎 (花山天文台): 月の海について	5
57. 石田五郎 (東京天文台): 実視連星の周期, 離心率関係	5
58. 鏑木政岐 (東大理): 超巨星の空間分布について	7
59. 江本祐治 (大阪学芸大): 暗い星の運動について	7
60. 安田春雄 (東京天文台): 高速度星の運動 (II)	5
61. 高瀬文志郎 (東大理): 星団の光度函数	7
62. 大脇直明 (水路部): 球状星団からの星の脱出と半径の変化	7
63. 清水嘉一 (大阪学芸大): super galaxy について	5
64. 黒沼栄一 (山形大文理): 物質の慣性と “cosmic-gravitational potential” (全宇宙の物質による重力カポテンシャル, あるいは重力ポテンシャル の絶対値)	7